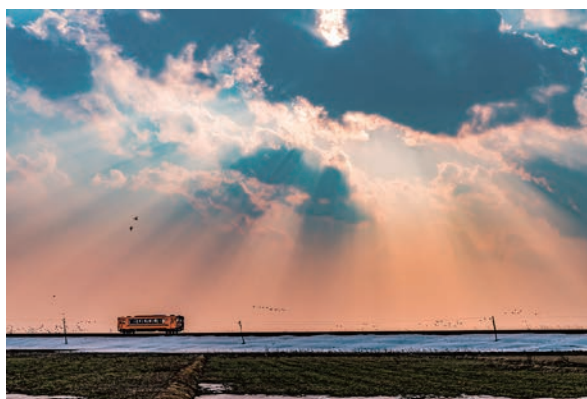


2022津軽鉄道フォト・リールコンテスト開催！



令和元年入賞作品「春光の中を行く」

津鉄ア・モーレは、厳しい経営環境にある津軽鉄道の利用促進のため、当市と中泊町の若手職員有志が市町の垣根をこえて組織する津軽鉄道活性化促進チームです。このたび、津軽鉄道の魅力を情報発信するため、津軽鉄道フォト・リールコンテストを開催します。ぜひ、ご応募ください。



市ホームページ



Twitter



Facebook



Instagram

募集期間…9月1日(木)～10月31日(月)

テーマ…フォト部門「魅力」／リール部門「日常」

参加方法

①写真を撮影、②以下の公式SNSに投稿

▷フォト部門…Instagram・Facebook・Twitterのいずれか

▷リール部門…Instagram

* テーマに沿った作品の本文に「#2022津鉄アモーレ

コンテスト」+「#撮影場所(直近の駅名)」、18歳以下の方は+「#津鉄ジュニア」をつけて投稿してください。

* 13歳未満の方は保護者が代理投稿

賞品…津軽鉄道グッズ、お米、図書カードなど

* 詳しくは、市ホームページに掲載の応募要項をご確認ください。

問い合わせ先…都市・交通課 内線2635

日本郵便が立佞武多フレーム切手を寄贈

7月25日、五所川原郵便局の長谷川雄一局長らが市長を訪問し、オリジナルフレーム切手「五所川原立佞武多 2022」を寄贈しました。

84円切手10枚入りの切手シートは、400シート限定



寄贈した長谷川局長(中央)

で、このうち300シートが西北地域、弘前市、西目屋村の郵便局で、残りの100シートはインターネットで販売されています。長谷川局長は「祭りの盛り上げに貢献できれば」と話しました。



寄贈されたフレーム切手

つがる西北五広域連合長に佐々木市長が再選

7月11日に行われたつがる西北五広域連合構成6市町長による広域連合長選挙において、佐々木市長がつがる西北五広域連合長に再選しました。

つがる西北五広域連合は、五所川原市、つがる市、鱒ヶ沢町、深浦町、鶴田町および中泊町の2市4町で構成されており、介護認定・障害判定に係る審査会および障害者地域自立支援協議会の設置・運営等の広域行政に係る事務、さらに西北五地域保健医療圏自治体病院機能再編成に基づき中核病院およびサテライト医療機関による病院事業の一体的運営を行っています。

佐々木広域連合長は「当圏域は人口減少や高齢化が著しく課題は山積しているが、住民ニーズに対応した良質な医療サービスの提供、地域医療体制の充実強化、そして住民福祉のさらなる向上のために努めていきたい」と話しました。

同連合では、団塊の世代が75歳以上になる2025年を見据えた新たな医療提供体制の構築に向けて、つがる総合病院、かなぎ病院、鱒ヶ沢病院、つがる市民診療所および鶴田診療所がそれぞれの機能を果たしながらさらなる連携強化に努め、地域完結型医療を目指し、圏域住民に安定した医療の提供に努めていきます。